



【経緯】

出荷された製品中に、透明な固い異物が入っていたと消費者からクレームがついた。該当する製品を製造したメーカーに原因究明の指示が出され、弊社にて分析を行うこととなった。

異物が工程で発見されずに消費者まで達していることから、迅速な回答が求められ、弊社に異物が到着した翌日に報告することとなった。

【分析経過】

透明異物との連絡が入っていたことから、ガラス片や樹脂片が予想された。実体顕微鏡にて観察を行ったところ、異物の端部が白くなっており、また、針先でキズがつくことから樹脂片であると推定した。

FTIR 顕微透過法により、赤外吸収スペクトルの測定を行ったところ、アクリル系の樹脂片であることが判明した。この段階で報告書を作成し、速報を提出した。

翌日、工程内で使用されているアクリル樹脂製のケースに、一部破損しているものが確認された。異物と同様に測定を行ったところ、弱い吸収まで異物と一致し、このケースの破片が混入したものと特定された。

【装置】 フーリエ変換型赤外分光光度計（ニコレーAvatar360）、赤外顕微鏡（ニコレーContinuum）

報告内容

報告書

光学顕微鏡写真

異物のスペクトル

ライブラリ検索結果

*この内容はフィクションであり、実際の受託内容は機密保持扱いと致します。

お問い合わせは

株式会社コーエキ（テクニサーチ部）までお気軽にどうぞ

〒394-0031

長野県岡谷市田中町 3 丁目 3-24

TEL 0266-23-2155 FAX 0266-23-0733

e-mail: info@e-koeki.co.jp